

令和 5 年度事業実施状況について

1 広島県合同輸血療法委員会

- (1) 実施時期
令和 5 年 7 月 1 日（土）
- (2) 方法
Web会議
- (3) 議題
ア 役員選出
イ 令和 4 年度事業報告
ウ 令和 5 年度事業検討

2 令和 5 年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業（令和 5 年 8 月 31 日付けで採択）

- (1) 研究課題名
「災害時等における医療機関間の輸血用血液製剤の譲受・譲渡（融通）」の実効性の向上について
- (2) 研究の目的
災害等により血液センターから輸血用血液製剤が供給できなくなった場合や、医療機関の孤立等により製剤が速やかに届かず患者の救命に支障をきたす事態が生じた場合に備え、近隣医療機関との血液製剤の供給連携の可能性を把握するとともに、緊急的に地域の医療機関で協力して、血液製剤の供給を可能とする具体的な仕組みを検討し、構築する。
- (3) 研究の概要
令和 2 年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業により、本県独自の「災害時等における医療機関間の輸血用血液製剤の譲受・譲渡（融通）に関する指針」（以下「指針」という。）を策定したが、実際の運用について不安を抱く医療機関が多く、融通に必要な医療機関間での事前の協定締結に至らないケースが多く見られる。
このため、課題解決策を盛り込んだ「輸血用血液製剤の譲受・譲渡（融通）に関する協定書様式」を策定することにより、各血液製剤利用医療機関に対して協定締結の促進を図る。
また、現行の指針は、赤血球濃厚液（RBC）の融通を想定したものとなっているが、災害発生時に一定程度需要のある新鮮凍結血漿（FFP）の融通も可能となるよう、模擬（実地）訓練・検証を実施した上で、指針の改訂を行う。
- (4) 研究方法
 - (ア) 模擬訓練
指針に基づき、訓練実施医療機関及び広島県合同輸血療法委員会幹事による承認の上、模擬訓練を実施した。
 - (イ) 指針の検証及び課題抽出
訓練実施後、参加者にアンケートを行うとともに、訓練の状況を広島県合同輸血療法委員会幹事会及び広島県合同輸血療法研修会に報告し、指針の課題等について意見交換を行った。

(ウ) 指針改定

抽出された課題を基に、事務局において指針の改定案を作成した。

3 広島県合同輸血療法委員会報告書

「厚生労働省 令和5年度 血液製剤使用適正化方策調査研究事業報告書」のとおり。

※ 令和6年4月に、各委員の所属あてにお送りしています。

4 広島県合同輸血療法研修会

(1) 日時

令和6年2月3日(土) 15:00~17:00

(2) 方法

Zoomウェビナーによるオンライン開催

(3) 参加者数

103名

(4) 内容

ア 「在宅輸血に関するアンケート調査結果」について

イ 「災害時等輸血用血液製剤供給体制の実効性の向上」について

ウ 特別講演

独立行政法人国立病院機構長崎医療センター臨床検査部長 長井 一浩先生

「離島地域への効率的な血液製剤供給～その対策と課題～」

5 広島県合同輸血療法委員会幹事会

	第1回	第2回	第3回
日時	4月22日(土) 15:00~16:30	10月28日(土) 15:00~17:00	1月9日(火) 16:00~19:00
方法	オンライン開催 (Zoomミーティング)		
議題	<ul style="list-style-type: none">・「令和4年度広島県合同輸血療法委員会活動報告書」について・令和5年度事業について・その他	<ul style="list-style-type: none">・「令和5年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業」の計画について・輸血療法に関する調査について・令和5年度広島県合同輸血療法研修会について・その他	<ul style="list-style-type: none">・「令和5年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業」の進捗状況について・輸血療法に関する調査の進捗状況について・令和5年度広島県合同輸血療法研修会について・その他